

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育の計画と評価				
担当者氏名	白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

平成29年に、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が大きく改訂（定）された。この保育課程の主旨を理解し、子どもの年齢と発達を踏まえた保育課程の編成及び指導計画の作成に関する事項を具体的に講義する。また子どもたちの豊かな育ちに繋がる計画を作成することを目指す。

《授業の到達目標》

これからの時代に求められる保育及びカリキュラムの基本を学ぶために、保育所保育指針等に基づき、保育の計画作成上の留意点を踏まえ発達過程に応じた保育の指導計画が作成できるようになる。  
また、保育実の分析やグループ毎の検討等を行いながら一連のプロセスを通して、子どもの主体性を大切にしたい計画と評価ができることを目標とする。

《成績評価の方法》

定期テストは実施しない。  
授業内で作成した指導計画、課題70%  
意欲、態度、グループワークへの参加度 30%

《テキスト》

『保育所保育指針解説（平成30年3月）』フレーベル館

《参考図書》

『保育の計画と評価—豊富な例で1から分かる』萌文書林  
『保育のこれからを考える保育・教育課程論』保育出版社  
『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』萌文書林

《授業時間外学習》

各回の課題には授業内で終わらない時は、次回までに課題を完成させることがある。

《備考（教員経験の有無）》

保育所、幼稚園、認定こども園での勤務経験有。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の概要、意義、資料、ノート、評価について認識する。 なぜ計画を立てるのか、PCDAサイクルについて
2	保育の基本の考えと意義	保育の基本、保育とは何か、保育で重視していること、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」
3	教育課程・全体的な計画と指導計画	平成29年度の改訂、改定の内容 指導計画とはなにか、保育所、認定こども園、幼稚園の理解
4	子どもの姿と実際の記録①	DVD視聴を通して子どもの姿を読み取る。
5	子どもの姿と実際の記録②	子どもの記録を取る視点、日案の作成の仕方 子どもの姿から指導計画の作成について
6	部分保育の指導計画①	部分保育の指導案の立て方、考え方
7	部分保育の指導計画②	部分保育の計画を立案する。
8	部分保育の指導計画③	立案した保育案をグループで共有し、ディスカッションを行う。
9	各年齢の発達の姿	各年齢の発達を理解する。
10	年間指導計画作成①	前回の授業を元に、年間指導計画をグループ毎に作成する。
11	年間指導計画②	年間指導計画をグループ毎に作成する。
12	年間指導計画作成③	年間指導計画をグループごとに作成する。
13	月の指導計画について	月の指導計画の考え方、作成のポイントについて学ぶ。
14	週案、日案について	週案、日案の考え方、作成のポイントについて学ぶ。
15	まとめ	学修を総括し、あらためて指導計画の意義と重要性について理解する。